

～より信頼される議会をめざして～

がんばっています!! 議会改革

小浜市議会は、市民の皆様により信頼される議会となるため、継続的に議会改革に取り組んでいます。

今回は、今までに取り組んできた議会改革と、今めざしている議会改革の取り組みについてまとめました。

15期後期 (H21.6～)

◎新たな議会改革の検討

- ①議会基本条例の制定に向けた検討
 - ・議会報告会の取り組み検討
- ②開かれた議会への取り組み
 - ・デジタル化、ブロードバンド化も踏まえた議会放映のあり方の検討

◎その他の議会改革

- 質疑のあり方の検討
 - ・質疑の活性化に向けた、回数などの見直し検討

市民本位の議会改革



議会へ

各種団体との意見交換会の開催に向けて取り組んでいます!!

議会報告会の開催を目標に、その準備段階として、市が抱える課題について各種団体との意見交換会を実施することを検討。



意見交換会の前段階と位置づけた勉強会を開催
(理事者との懇談会)

キーワード 「議会報告会」

議決内容や懸案課題等について、議会が地区公民館などへ出向いて、直接市民の皆様へ報告、意見交換する取り組み。市民からの意見を議会運営に直接反映でき、また議会の資質向上の効果もあるなど、注目されています。



一問一答・対面式の一般質問



議会ホームページの開設



議会放映(イメージ)

15期前期 (H19.5 ~ H21.6)

◎政務調査費制度の見直し

①透明性の確保

- ・収支報告書への領収書添付義務化
- ・収支報告書、添付書類の全面公開化

②金額等の支出見直し

- ・月額交付額の見直し (4万円→2万円)
- ・支出ガイドライン、手引きの作成

◎予算常任委員会の設置

◎内部経費の削減

- ・公費による昼食の廃止
- ・費用弁償の見直し (市内の旅費廃止)
- ・加除式例規集の廃止など

情報公開への対応

~ 14期 (~ H19.5)

◎定数の見直し

(30→24→21→18)

◎議会放映 (H10.3 ~)

◎一般質問への一問一答・対面方式導入 (H14.3 ~)

◎先例、慣例の明文化 (H15)

議会の基礎的改革

議会力向上、より信頼される



シカ・イノシシの被害に待った!!

鳥獣害対策費の増額を求める意見書

我が国においては、第一次産業の低迷・縮小に伴い、食料自給率が40%を切る深刻な事態を迎えており、改めて農林水産業が見直されているところである。

その一方で、全国各地においてシカ、イノシシを初めとした野生鳥獣による農林水産物への被害が増加の一途をたどり、高齢化している農林漁家が経営意欲を失い、農山漁村の過疎化をさらに加速化させている極めて深刻な状況となっている。

このような中、政府においては、先般の事業仕分けにより、これら鳥獣被害防止総合対策事業に対し縮小ともとれる結論を出したところであるが、この結論は地方や農林漁家の実態を全く知らないものであり、国が進める安全・安心な食物を安定供給する取り組みに相反する結論と言わざるを得ない。

鳥獣害に頭を悩ます本市を初めとする地方自治体では、厳しい財政状況の中、国・県の補助金を有効に活用しながら、恒久金網柵の設置や補殺処分などの鳥獣害対策に尽力しているところであるが、自治体ごとの取り組みや財政力にばらつきもあり、まだまだ根本的な解決に至っていないのが現状である。

よって、国においては、このような地方の実情を踏まえ、国の責務として鳥獣害対策を積極的に推進し、事業費についても増額されるよう、以下の事項について強く要望する。

記

1. 国の「鳥獣被害防止総合対策交付金」について、予算枠の拡大を図るとともに、事業期間を延長すること。
2. 増加に歯止めがかからない鳥獣被害について、市町村域、県域を超える広域的な個体数調整を推進するため、国も捕獲報償費について予算措置を講ずること。
3. その他有効な対策についても、自治体任せにするのではなく、国の責務との認識に立ち、新たな防止対策の開発普及、予算措置など積極的な推進を図ること。

可決した意見書

6月定例会では、2件の意見書を可決し、内閣総理大臣はじめする関係行政官庁へ送付しました。

意見書の内容は、次のとおりです。(どちらも全文)

農業農村整備予算の増額を!!

農業農村整備事業予算の確保を求める意見書

農業農村整備事業は、国民の必要とする食料を安定的に供給するための農業生産基盤の整備のみならず、豊かな自然環境や景観の保全、治水等の多面的機能を維持する観点からも欠くことのできないものである。

しかしながら、平成22年度の農業農村整備事業予算では、公共事業削減の流れの中で、前年度比で6割を超える額が削減されている。

このような事業予算の急激な削減は、必要な整備の長期化や中止を招き、農業・農村の更なる病弊と共に、農業そのものが成り立たなくなるおそれがあるばかりか、食料自給力を更に低下させ、国民全体への不利益にもつながるものと危惧するものである。

食料自給力の向上や農業・農村の振興は、戸別の所得補償だけでは展望が開けるものではなく、農業生産基盤や農村環境整備などと連携しながら取り組むべきである。国会および政府においては、農業農村整備事業の重要性を評価し、下記事項について特段の取り組みをお願い申し上げます。

記

1. これまで計画的に進めてきた実施中の事業や実施に向け準備を進めている事業が円滑に進められるよう措置を講ずること。
2. 農地や農業水利施設などの農業生産基盤については、農業の基礎的インフラとして、今後の整備、更新、適正な維持管理が円滑に進められるよう事業予算を確保すること。

編集後記

今回は6〜7ページに「議会改革」の特集を組んでみました。
「議会改革」といってもたくさんありますが、これも目的は市民の皆様への負託にこたえられるよう「議会」としての本質を磨くことにあります。

議会は、別名「言論の府」とも呼ばれているとおり、政策的な議論を展開する場です。

今までは議会のスリム化や透明性の確保などの内部改革を重点的に行ってきましたが、今後は政策提言ができる議会への変身が求められています。

議会のあり方も含め一生懸命取り組んでいますので、皆様のご理解ご協力よろしくお願ひします。

〈広報委員会〉

- | | | |
|------|----|-----|
| 委員長 | 井上 | 万治郎 |
| 副委員長 | 宮崎 | 治守蔵 |
| 委員 | 松下 | 圭一郎 |
| | 藤中 | 雅之 |
| | 池尾 | 善彦 |

◆ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

皆様の市議会に対するご意見・ご質問・ご要望等を議会事務局宛てのメールでお受けすることができます。メールアドレスは下記のとおりです。
gikai-jimu@ht.city.obama.fukui.jp

◆ホームページで会議録を掲載。

小浜市のホームページで、平成13年9月定例会からの会議録をご覧になれます。URLは、<http://www.city.obama.fukui.jp> メニューの「議事録・会議録」ボタンから。

